

令和7年9月定例会 一般質問通告書

令和7年9月9日（火）

質問者	発言事項	要 旨	答 弁 者
<p>1 平田 安則 議 員</p>	<p>1. 市防災計画について</p>	<p>昨年の能登半島地震の初動対応を検証した石川県設置の第三者委員会報告書が8月に公表されました。又、議会総務福祉委員会でも7月に所管事務調査で、被災地の能登町・穴水町へお邪魔させていただきました。</p> <p>以上の識見や被災地での印象に残った言葉（一部）から、市防災計画ではどのように計画しているのか以下お伺いします。</p> <p>(1) 「自身で命をつなぐことが大事」周知の現状と計画 (2) 「電気と水が有ればなんとかなる」確保の現状と計画 (3) 「普段からご近所の連携を図りリーダーを育成する」現状と計画 (4) 「小中学校児童生徒を中心とした地域の防災教育が大事」現状と成果 (5) 「アクセス道路は、半島中心部を縦断する能登里山海道と半島海沿いを周回する国道249号の2本しかない状況で、甚大な被害が発生し災害対応が大幅に遅れる要因となった、道路啓開の進捗に合わせた救命救助、緊急支援という状況になった」市の現状に対しどのような対策を考えているか (6) 「港が隆起し使えない、山岳地の為空からの航空支援も限られており3日間命をつなぐ備えは自身、隣近所で備えることが大事」現状と計画における対策 (7) 「職員も被災者になり職員だけでは対応できない（全職員配備は発災から10日後）、1週間以上家に帰れなかった」対策、計画 (8) 「人的被害（死亡）、7月1日現在で能登町53名の内災害関連死51名、穴水町51名の内災害関連死30名で、災害関連死を減らす取り組みが重要である」対策と計画 (9) 「受援体制の準備不足（受入体制の知識と経験不足）」計画における体制整備状況と知識・経験情報集積状況 (10) これまで被災地に派遣された職員の見聞きした事、感じたこと等など記録され、市の計画に反映されていますか？特に避難所生活など</p>	<p>市 長 教育長</p>
	<p>2. アカギヒメヨコバイ防除について</p>	<p>街路樹、公園、学校等の緑化木として植樹された、赤木がアカギヒメヨコバイによる被害により、葉の変色や落葉による景観の悪化、排せつ物が住宅の壁や自動車に付着するなど住民生活への被害が発生している。</p> <p>防除対策状況を伺います。</p>	<p>市 長</p>

令和7年9月定例会 一般質問通告書

令和7年9月9日（火）

質問者	発言事項	要 旨	答 弁 者
	<p>3. ガソリン税等の特例税率(暫定税率)について</p>	<p>県内の揮発油税・地方揮発油税(国税)は、復帰特別措置により特例税率分から1リットル当たり7円軽減され、それを前提に県は独自に1リットル当たり1.5円石油価格調整税(県税)として課税し、離島への石油製品等の輸送補助事業を行っている。</p> <p>そのような現状の中、ガソリン税暫定税率廃止の議論が国会で行われており、特例税率全区分が廃止された場合、県内のガソリン価格は他府県より高い価格となります。</p> <p>市は暫定税率内の復帰特別措置による軽減措置の存続を求め、沖縄振興調査会及び国に要請活動を早期に展開すべきと考えるが見解を伺います。</p>	<p>市長</p>
	<p>4. 市役所内のハラスメント防止について</p>	<p>前に設置された第三者委員会は、アンケート調査による前市長、前副市長、前市議(当時市議)や現職市議によるハラスメント事案は検証することなく報告書が提出され、南城市役所内からハラスメントを無くすという初期の目的が達成されていないと考えるが、その後の対応状況と市の対処方針を伺います。</p>	<p>市長</p>
<p>2 松田 兼弘 議員</p>	<p>1. 久高島野菜工場の稼働一時休止について</p>	<p>久高島野菜工場は、離島活性化推進事業による国、南城市の補助事業で久高島における就労の場の創出等を目的とした補助事業である。</p> <p>現在一時休止にある。就労の創出、補助金のあり方について以下を問う。</p> <p>(1) 総事業費の国、南城市、事業者の負担割合を問う (2) 事業採択の経緯を問う (3) 年度ごとの収穫量(稼働)の計画と実績を問う (4) 雇用の場の創出について ① 年度ごとの島民の雇用者数を問う ② 雇用形態(正規、パート、他)、社会保険や福利厚生等の有無を問う (5) 平成29年度の担当課の農林水産部産業振興課の当事業補助金検証シートを問う (6) 一時休止中の賃金支払いの有無を問う</p>	<p>市長</p>
	<p>2. 物価高騰から市民の生活を守る支援について</p>	<p>物価高騰の影響が長期化し低所得者や年金生活者、子育て世帯にとって家計のやりくりが深刻な状況にある。早期の支援策を求め以下を伺います。</p> <p>(1) 生活困窮の方々の相談窓口の現状と課題を伺います ① 社会福祉課の相談対応を伺います ② 生きがい推進課の対応を伺います</p>	<p>市長 教育長</p>

令和7年9月定例会 一般質問通告書

令和7年9月9日（火）

質問者	発言事項	要 旨	答 弁 者
		<p>③ フードバンク等の緊急対応の仕組みづくりを求めます</p> <p>(2) 高齢者の生活実態を調査し施策の拡充を求めます</p> <p>(3) 就学援助制度の活用について学校現場の現状と課題を伺います</p>	
3 新里 嘉 議員	1. 中学校部活動地域移行について	国は当初、令和8年度からの地域移行を目指す指針をだしておりましたが、現在は地域の実情に応じて可能な限り早期に環境整備の実現を目指すとしています。その方向性なども踏まえ、現在の本市の現況、考え等について伺います。	教育長
	2. 教育行政について	<p>(1) 今年度の本市の学力テストの結果、及び課題等について伺います</p> <p>(2) 今年度夏休み期間中の、市内小中学校における補習授業の取り組みについて伺います</p>	教育長
	3. 地域課題	<p>(1) 市道東江戸線の排水施設整備等事業化へ向けての進捗状況を伺います</p> <p>(2) 市道西江戸東江戸線、現在進行中の市道整備の中でも一番遅れている路線と認識しているが、想定している完了時期について伺います</p>	市長
	4. 自治会運営について	<p>(1) 本市の自治会加入率について伺います</p> <p>(2) ムラヤー（公民館）を活用し、自治会の収入源を生む取り組み、工夫を、行政から発信、提案することも今後取り組んでいくべきと考えるが、所見を伺います</p> <p>(3) 自治会費は、区によって規約などを設け徴収し運営していますが、今後は高齢化、非加入問題等の課題から運営が行き詰まる自治会が出てくることが予想されます。今後、自治会費を行政が徴収し、区へ分配する仕組みづくりが出来れば、自治会運営への大きな後押しになると思うが、所見を伺います</p>	市長
4 宮城 尚子 議員	1. 市長セクハラ認定関連	<p>(1) 6月議会の答弁において、市長への表敬訪問については、市長部局である副市長と調整している旨、教育長より答弁があった。その後の結果と現状について伺う</p> <p>(2) 公費で設置された「南城市ハラスメント事案に関する第三者委員会」の調査報告書については、ネット環境にない市民のためにも、市の広報誌において報告書概要版を掲載すべきであるが、行われていない理由を伺う</p> <p>(3) 横断幕設置や議員への抗議文を提出した市民団体「すばらしい南城市を支える市民の会」等と市長の関わりについて、6月議会の答弁において市長は、「関係ない」と発言しているが、あらためて関係を伺う</p>	市長

令和7年9月定例会 一般質問通告書

令和7年9月9日（火）

質問者	発言事項	要 旨	答 弁 者
		<p>(4) 第三者委員会報告書内の市長聞き取りの中の、「いわゆる野党を含めて（野党議員とも話合いをしているとの意味）」という記載について、6月議会答弁の中で市長は「野党議員からもそのような訴えがあるという意味での発言だったと認識をしている」と答弁。その後の再質問では「私もその前の議論は覚えていない」と矛盾する答弁をしていたが、あらためてその内容について伺う</p>	
	<p>2. 市長出張・公用車関連</p>	<p>(1) ハワイ移民 125 周年記念式典参加のための経費予算内訳について伺う</p> <p>(2) 市長公用車アルファード購入（現在は賃借）にあたり、かつて市長は「動く市長室であり中で会議をすることもある」と明言していたが、以下伺う</p> <p>① 市長公用車（アルファード）内で大勢が乗車し、車内会議を行なったおおよその回数</p> <p>② 市長公用車（アルファード）のこれまでの賃借料総額</p> <p>③ 市長公用車（アルファード）の購入時期と購入予算額</p>	<p>市 長</p>
	<p>3. 教職員の負担軽減について</p>	<p>市内各中学校における修学旅行実施の際、引率教職員に関する経費について以下伺う。</p> <p>(1) 引率教職員の旅費等の費用経費の支払い方法と額</p> <p>(2) 引率教職員が個人負担する費用経費と額</p>	<p>教育長</p>
	<p>4. 南城市における平和発信・創造の形について</p>	<p>(1) 平成 23 年に制定された「南城市市民平和の日条例」では、平和事業の推進がうたわれているが、これまでの実績と今後の計画を伺う</p> <p>(2) 本市教育現場における平和教育の取り組み状況と特色、課題について伺う</p> <p>(3) 新たに整備予定の南城市歴史文化発信拠点のコンセプトでは、「琉球の祈りの価値と魅力を発信する県内唯一の拠点」が目指す施設像として掲げられている。ここでいう「祈りの価値と魅力」とは何か、伺う</p>	<p>市 長 教育長</p>
<p>5 安谷屋 正 議 員</p>	<p>1. 地域課題について</p>	<p>以下についてお伺いします。</p> <p>(1) 親慶原交差点の信号機について、県道 137 号線側は時差式となっておりますが、コストコ開業の影響もあって渋滞の頻度が高くなっており、近隣の住民から車の出し入れが非常に困難な状況が度々起こっているとの苦情が寄せられています。</p> <p>そこで、時差式ではなく喜良原方面への右折矢印信号への変更ができないか伺います</p>	<p>市 長</p>

令和7年9月定例会 一般質問通告書

令和7年9月9日（火）

質問者	発言事項	要 旨	答 弁 者
		<p>(2) 県道 86 号線、子羊保育園の前には横断歩道が設置されているが、渋滞時には横断歩道にも車が停車している状況が散見される。</p> <p>園児や歩行者の安全面を考慮して、なにがしかの注意喚起が必要だと思われるが見解を伺う</p>	
	<p>2. 児童生徒の歯科検診について</p>	<p>児童生徒の健康維持管理については家庭、学校、教育委員会の努力によって維持されているものと認識しています。</p> <p>今回は学校医でもある歯科医師の先生からのお話を基に以下について質問いたします。</p> <p>(1) 令和6年度に歯科検診で治療が必要とされた児童生徒の数</p> <p>(2) (1) で要治療とされた児童生徒のうち、治癒がなされた児童生徒の数と治癒できなかった児童生徒の数</p> <p>(3) 治癒できなかった要因をどうとらえているか</p>	<p>教育長</p>
<p>6 銘苺 哲次 議 員</p>	<p>1. 地域医療について</p>	<p>南城市では高齢化の進行と子育て世代の増加が同時に進んでおり、地域医療の充実がこれまで以上に重要な課題となっています。市民が安心して暮らし続けられる環境を整えるためには、誰もが必要な医療にアクセスできる体制の構築が不可欠です。</p> <p>令和4年9月定例会においても提案させていただきましたが、改めて「医療モール」の整備について、福祉施設との複合化を含めて提案いたします。この施設は、本市が抱える医療機関不足の解消に寄与するだけでなく、市役所付近に設置することで、交通弱者を含む市民が市内循環バスを利用して通院しやすい環境を整えることが可能です。</p> <p>また、複数の診療科が集まることで、医師間の連携や包括的な医療提供が実現し、市民の健康維持・増進に大きく貢献するものと考えます。さらに、災害時には医療拠点としての機能も期待でき、地域の防災力向上にも資するものです。</p> <p>つきましては、以下の点について市の見解を伺います。</p> <p>(1) 医療提供体制の現状認識について</p> <p>市として、現在の医療機関数や診療科の偏り、高齢者・子育て世代の医療ニーズに対する課題認識をどのように捉えているか</p> <p>(2) 医療モールの必要性和市民への効果について</p> <p>医療モールの整備が市民生活に与える具体的なメリットや、地域医療体制への波及効果についての見解</p>	<p>市 長</p>

令和7年9月定例会 一般質問通告書

令和7年9月9日（火）

質問者	発言事項	要 旨	答 弁 者
		<p>(3) 財政面での実現可能性について 国・県の補助制度や民間資本の活用を含めた財源確保の可能性と、事業化に向けた検討状況</p> <p>(4) 災害時の医療拠点としての活用について 医療モールを災害時の医療提供拠点として位置づけることの意義と、具体的な整備方針の有無</p> <p>(5) 交通アクセスとの連携について 市内循環バスや公共交通との連携による通院支援策の現状と、医療モール整備との相乗効果について</p>	
	<p>2. 馬天港の漂着ゴミ処理について</p>	<p>馬天港は本市の重要な港湾であり、漁業・物流・観光など多面的な役割を担っています。しかし近年、港湾内に漂着するゴミの量が増加傾向で、特に港内の事業者敷地に漂着するゴミの処分について、事業者が多大な負担を強いられているという声が寄せられています。この問題は、単なる環境美化の課題にとどまらず、地域経済や港湾機能の維持、さらには市民の生活環境にも影響を及ぼす重要な課題です。馬天港は沖縄県が管理する港湾であることから、県が主体的に処理体制を構築し、維持・管理の委託先の市に対して支援等を行う責務があると考えます。以下の点について伺います。</p> <p>(1) 馬天港における漂着ゴミの現状と、事業者からの処分負担に関する相談・要望の有無</p> <p>(2) 本市は馬天港の維持・管理を沖縄県から委託されているが具体的な内容及び予算額</p> <p>(3) 今後、県との連携を強化し、持続可能な処理体制の構築に向けた具体的な方針はあるか</p>	<p>市長</p>
	<p>3. 教育行政について</p>	<p>玉城中学校の体育館が雨天時になると雨漏りが常態化し、体育館の使用が制限されていると、保護者から相談がありました。現地調査及び学校関係者からの聞き取りを行ったところ、何度か修繕があったとのことでした。以下、見解を伺います。</p> <p>(1) 直近の修繕内容と成果</p> <p>(2) 大規模修繕工事の予定はあるか</p> <p>(3) 市内の小中学校体育館で同様な事例があるか</p>	<p>教育長</p>

令和7年9月定例会 一般質問通告書

令和7年9月10日（水）

質問者	発言事項	要 旨	答 弁 者
7 普天間 真也 議 員	1. さくらねこについて	<p>飼い主のいない猫が地域にすることで不適切な餌やりや不衛生な糞尿など様々な問題が生じます。</p> <p>本市では、公益財団法人どうぶつ基金が不妊手術等の費用を全額負担する「さくらねこ無料不妊手術事業」に参加し、飼い主のいない猫に対して不妊手術を実施することで、繁殖を防止し、猫に関わる苦情や殺処分の減少に寄与する活動をおこなっています。</p> <p>本市の衛生環境を保持していくためにも、今後より一層の事業活動の推進をしていく必要があると考え、以下について伺います。</p> <p>(1) 過去5年間のさくらねこ事業実績（今年度8月末まで） (2) 市内のさくらねこに関するボランティア団体の有無 (3) さくらねこ事業を行っていくうえでの課題や市民からの要望 (4) 野良猫問題やさくらねこ事業に関する市民への周知方法</p>	市 長
	2. 地域課題について	<p>7月30日に当間区から市へ要請があった、県道86号線喜屋武南交差点から当間バス停まで続く渋滞問題に関して、以下について伺います。</p> <p>(1) 渋滞の要因 (2) 今後の対応</p>	市 長
	3. 老朽管更新について	<p>7月9日に産業教育委員会の所管事務調査で長野県長野市の水道整備課の皆さまに対応いただき「AIによる配水管の劣化予測診断について」学ぶことができました。</p> <p>長野市では今後すべての老朽管を更新するのに30年以上要すること、限りある予算を効果的に執行するための根拠が必要となること、古くても健全な管と新しくても劣化している管の存在があることから、効果的かつ効率的な老朽管更新方法としてAI診断を導入するに至った経緯があります。</p> <p>そこで以下について伺います。</p> <p>(1) 本市の老朽管更新計画の有無 (2) AIや先進技術を活用した老朽管診断導入についての所見</p>	市 長
8 仲間 光枝 議 員	1. 農福連携について	<p>長野県松川町にある株式会社ウィズファームの農福連携の取組みについて、現場視察や代表の森下氏の説明を聴き、飽くなき挑戦と利用者目線の取組みに感銘を受けました。本市の農福連携の考え方、本市での実例や取組みについて伺います。</p>	市 長

令和7年9月定例会 一般質問通告書

令和7年9月10日（水）

質問者	発言事項	要 旨	答 弁 者
	<p>2. 不登校児童生徒・保護者支援について</p>	<p>長野県長野市における不登校支援について、教育委員会学校教育課長佐久間氏より令和6年度開設した「教育支援センターSaSaLAND」の開設経緯や背景、現状について説明を受けました。</p> <p>既に7ヶ所の教育支援センターがあった中、8ヶ所目を新たに開設したこと、保護者支援やフリースクール等民間施設との連携も含めた支援の幅広さから、子ども達を大切にす長野市の思いを感じました。本市の現状と課題、取組み状況について以下伺います。</p> <p>(1) 直近の不登校児童生徒数</p> <p>(2) 不登校児童生徒の居場所の把握状況</p> <p>(3) フリースクール等民間施設を利用している児童生徒数</p> <p>(4) 南城市こども計画では、子ども支援の充実・拡充を謳っています。基本目標の中では「地域や関係機関・団体との繋がりによるこども施策の展開」とあるが、その範囲にフリースクール等の学び場や居場所は含まれるのか。また、フリースクール等が不登校や学校に馴染めない児童生徒、多様な学びを選択する児童生徒の受け皿となっていること、こどもの育ちや学びを保障するための一役を担っているという認識はあるか</p> <p>(5) 公立学校外で過ごす子どもや保護者への経済的負担（利用料、昼食費、交通費等）についての認識と今後の公的補助導入の見通し</p> <p>(6) 公立の学校外で過ごす子どもや保護者を対象にした実態・ニーズ調査を求める声があるが見解と実施可能性</p> <p>(7) 現存する沖縄フリースクール居場所等運営者連絡協議会との関わり方（協議・連携）についての見解</p>	<p>教育長</p>
	<p>3. 平和教育プログラムについて</p>	<p>本市は、南城市の沖縄戦資料編、証言編の発刊、アーカイブ事業等を通して戦争体験の記録、保存、活用を図りつつ、平和教育に関しても熱心に取り組んでいるものと承知していますが、戦後80年が経った今、今後の平和教育についての見解を伺います。</p> <p>(1) 本市の小中学校で行われている平和教育の取組みについての見解や課題等、教育委員会の受け止め</p> <p>(2) 広島市では「広島平和ノート」など発達段階に応じた教材を整備し、体系的な平和教育を行っています。各校、各教員の創意工夫も大切ですが、それに頼るのみでは学校や先生によって温度差が出やすくなります。本市にある豊富な</p>	<p>教育長</p>

令和7年9月定例会 一般質問通告書

令和7年9月10日（水）

質問者	発言事項	要 旨	答 弁 者
	4. 災害対応の現状と課題について	<p>資料、教材を活かしながら体系的な平和教育プログラムを整備する考えはないか</p> <p>昨年11月に発生した北部豪雨においては、県の対応遅れにより災害救助法の適用を受けることが出来ず混乱を招きました。このような事を繰り返さないためにも、本事例から学び備える必要があると同時に、速やかな被災者支援のための罹災証明書発行についても適確な対応ができるよう努める必要があります。以下伺います。</p> <p>(1) 災害救助法適用までの流れと国、県、市町村の責務</p> <p>(2) 本事例に対する本市の見解とその後の体制や災害対策等の見直しがあったかどうか</p> <p>(3) 罹災証明について</p> <p>① 国は、罹災証明申請書及び罹災証明書様式について全市区町村統一様式にするよう求めてきましたが、本市においては対応済みか</p> <p>② 国は、被災者の過度な負担及び写真がないために申請を諦める事がないよう、「申請時の写真や図面などの添付・提示を必須としないよう留意」する事を求めているが、本市ではその認識で行っているか</p> <p>(4) 災害関連死が問題となる中、災害弔慰金の支給事務についても認定漏れや被災者の不利益にならないようにする事が求められています。</p> <p>そのために、各市町村ごとの条例制定及び当該条例に基づく審議会等の設置が急務だと思いますが、本市の見解</p>	市長
9 大城 喜弘 議員	1. 自然災害について	<p>自然災害に対する防災意識が高まる中で、線状降水帯に関する情報提供や注意喚起が強化されています。気象庁や防災関連機関が積極的に情報を発信するようになり、その結果として一般の人々にも線状降水帯という言葉が浸透してきています。</p> <p>地球温暖化による深刻な問題でもある線状降水帯は長時間にわたり局地的に大雨をもたらす、甚大な自然災害をもたらします。近年、実際線状降水帯が増えてきています。沖縄県でも、令和6年11月9日日本島北部で線状降水帯が発生し甚大な災害が発生しています。また、今年の7月南大東村では25日の雨の降り始めから28日午後4時までの3日余りで観測史上最大を上回る580ミリを記録し、北大東村でも同期間にこれまでの記録を上回る531.5ミリを観測しています。2村では床上・床下浸水が計19軒発生しています。いつどこで、発生するかわからない線状降水帯等による甚大な自然災害。</p>	市長

令和7年9月定例会 一般質問通告書

令和7年9月10日（水）

質問者	発言事項	要 旨	答 弁 者
		<p>以下について伺う</p> <p>(1) 線状降水帯が発生した時の対策について教えてください</p> <p>(2) 緊急避難場所は、市内に何カ所あるか</p> <p>(3) 緊急時の連絡体制は、どのようにおこなっているか</p>	
	2. 熱中症対策について	<p>近年、地球温暖化により年々熱中症及び熱中症後遺症患者が増えています。南城市のホームページで熱中症は、室温や気温が高い中での作業や運動などにより、体温の調節機能が働かなくなり、体内の水分や塩分のバランスが崩れてしまうことで発症します。特に、体温調節機能が未発達な乳幼児や、暑さを感じにくい高齢者は、重症化しやすい傾向にありますので注意が必要だとあります。そこで、以下について伺う。</p> <p>(1) 南城市で、過去5年の熱中症及び熱中症後遺症の患者は年毎で何人ですか</p> <p>(2) 熱中症予防を市民に周知徹底するためにどのような対策を行っているのか</p> <p>(3) 高齢者1人又は高齢者2人住まいの見守り等はどのようにしているのか</p>	市 長
10 上地 寿賀子 議 員	1. 都市計画 (大里地区) の展望について	<p>本市におきましては南城市都市計画マスタープランに基づき市の中央部である先導的都市拠点エリアに事業を導入するなど地域が更に活性化されることが期待されます。一方で大里地区は那覇広域に近くアクセスも便利であることから今後も市民ニーズが高まることが予測され、将来を見据えたまちづくり構想として可能性が高いエリアだと思います。</p> <p>まちづくりを進めるには地域の課題もでてきますが、将来も見据え課題に取り組む必要もあるのではないかとことから市民からの要望も含め次について伺います。</p> <p>(1) 南城市都市計画マスタープランに位置づけられる大里地区の計画と目的について</p> <p>(2) 大里地区の人口ビジョンや企業誘致について</p> <p>(3) 県道77号線北区域側、コンビニエンスや給油所辺りの交差点の交通に関する現状について</p>	市 長
	2. 防災について	<p>気候変動により想定を上回る災害が全国で発災しており防災に関する意識は高まってきております。</p> <p>自助・共助・公助とあるようにまずは自分の身は自分で守るということから自助や公助に関する知識などの習得も必要であることから次について伺います。</p> <p>(1) 学校やこども園、学童など防災セミナーなどの実施や市との連携について</p>	市 長

令和7年9月定例会 一般質問通告書

令和7年9月10日（水）

質問者	発言事項	要 旨	答 弁 者
		(2) 赤十字奉仕団との連携について (3) 本市における防災士の資格をもつ人数や取得の費用助成について	
	3. 若者の資格取得について	資格取得の機会として本市では昨年からは沖縄産業開発青年協会に希望する若者へ費用の補助を実施しております。 若者が資格を取得し就業の選択が広がることが期待される事業であります、その後の進捗や実績人数について。また資格を取得した若者と市内企業とのマッチングなどについて伺います。	市 長
11 森山 悟 議 員	1. 国道 331 号の安全性について	国道 331 号は交通量が多く、車でドライブを楽しむ人やオートバイでのツーリングを楽しむ人が多い中、6月7日にオートバイ事故により死亡事故が発生しました。 今後の安全対策などが大変重要になると思っております、以下について伺う。 (1) 国道 331 号は雑草が繁茂し見通しが悪い場所があります。年何回の除草作業を行っているのか伺います (2) 国道 331 号道路には横断歩道があり、今回横断歩道の側に横断標識が設置されましたが、横断歩道の白線の整備がされていない現状について伺う (3) 国道 331 号の安全対策について南部国道事務所と南城市の連携について伺う	市 長
	2. 地域課題について	(1) 市道（百名～新原線）地盤を大きく切り下げて整備した箇所があり百名 983-2 付近は 5 m 近く切りさげられており、法面は擁壁の施工がされておらず、崩れている状況があり付近宅地まで危険性が高くなっています。今後の対策について伺う (2) 市道（百名～新原線）百名 1496-2～百名 1497-1 付近の法面に自生している大木が今にも道路に落下しそうで危険な状態にあります。今後の対策について伺う (3) 市道（百名～新原線）百名 1518-1 の Y 字路にある停止線が薄くなり、この Y 字路はレンタカー等観光客の往来が多く、停止線に気づかず直進するドライバーが多く、交通安全上とても危険があります。今後の対策について伺う	市 長
	3. 水道事業における取組について	今回 7 月 7 日～7 月 10 日に産業教育委員会の、所管事務調査で、長野県で（農福連携・新規就農支援・生涯学習不登校児童生徒の支援・水道事業における AI 活用）を勉強させて頂きました。その取り組みの中で今後の南城市でも課題になると思ひ、以下について伺う。	市 長

令和7年9月定例会 一般質問通告書

令和7年9月10日（水）

質問者	発言事項	要 旨	答 弁 者
		(1) 南城市内4地区における管の耐用年数の状況について伺う (2) 今後水道管の老朽化に伴い、管の入れ替えなど限られた予算を活用して対応・対策が行なわれると思いますが市の考え方について伺う (3) 水道事業におけるAIを活用した管路更新最適化について、南城市での活用について伺う	
12 知念 俊也 議員	1. 農業用水 について	水利施設整備事業（中山・志堅原地区）について伺う (1) 進捗・工事予定 (2) 給水栓設置積算方法・単価 (3) 農業用水単価 (4) 地区内における農業集落排水処理水の今後は (5) 処理水における水質調査状況	市 長
	2. 教育行政 について	子どもが平日に学校を休み校外で保護者と一緒に体験活動をして学びを深めるラーケーション。沖縄県は県立学校へ試験的に導入予定であるが、本市の見解を伺う	教育長
	3. 市民サー ビスについて	(1) 宮古島市において、運転免許返納後も住み慣れた地域で自分らしい暮らしを継続すること。外出や社会参加交流の機会を失わないことを目的として、シニアカー（ハンドル型電動車いす）の購入費の一部補助を実施。本市においても補助要望が多いが見解を伺う (2) スポーツ文化活動等で、優秀な成績を収めた市民、団体等の市民への周知等について伺う	市 長 教育長

令和7年9月定例会 一般質問通告書

令和7年9月11日（木）

質問者	発言事項	要 旨	答 弁 者
13 島袋 裕介 議 員	1. 市内小学校児童数の偏在と校区再編の検討状況と課題について	市内小学校の児童数は地域の人口増減により、学校ごとに状況が異なります。全体的な校区再編など丁寧な説明や進め方が必要と考える。以下伺う。 (1) 市内小学校児童数の推移と見通し (2) 児童数の増減による課題 (3) 8月28日に行われた大里南小学校過密解消に向けた住民説明会の内容と参加人数及び意見交換の内容	教育長
	2. 公共施設について	(1) 玉城総合体育館改修事業について目的及び改修内容とスケジュールを伺う (2) 歴史文化発信事業の進捗状況と歴史資料館建設候補地及び運営維持管理費等を伺う	教育長
	3. 屋外広告物について	屋外広告物は情報の受け手にとって有益なものであったり、街を活気づけたりする反面、無秩序に表示されると美しい自然景観・まちなみや安全で快適な歩行空間が阻害される恐れがあります。以下伺う。 (1) 本市において屋外広告物の設置件数や違反件数はどのように把握しているか (2) 沖縄県屋外広告物条例に基づき、屋外広告物の許可事務や簡易除却事務が権限移譲されているが現状と課題	市 長
14 宮城 秋夫 議 員	1. 公共駐車場の活用状況について	観光交流拠点、災害時の活動拠点として整備された2,000台収容の公共駐車場について、下記の通り伺います。 (1) 活用状況について ① 直近5年間のイベント等で活用状況 ② 直近5年間の駐車場としての活用状況 (2) 利用料金について ① イベント、駐車場（職員等）別 ② 利用料金設定の経緯及び根拠 (3) 直近5年間の収支状況について (4) 課題及びその対応策について	市 長
	2. 大里南小学校線について	大里ニュータウン、真境名区から大里南小学校へ向かう大里南小学校線の整備状況について、下記の通り伺います。 (1) 地権者の同意状況について (2) 今後のスケジュールについて	市 長
	3. 大里農村環境改善センターについて	玉城中央公民館が閉館となり、そこから移動してきた市民サークル等含めて、当改善センターにおいて活発に活用されていますが舞台照明が故障している状況で、利用者が大変困っています。 (1) 市民の活用状況について ① 直近5年間の市民サークル活動状況について	教育長

令和7年9月定例会 一般質問通告書

令和7年9月11日（木）

質問者	発言事項	要 旨	答 弁 者
		<p>② 直近5年間の舞台含むホールの利用状況について</p> <p>(2) 当改善センター今後の活用の見通しについて</p> <p>(3) 舞台照明等の修繕について</p>	
	4. 地域課題について	<p>地域の皆さんから、自転車道において雑草が、繁茂し自転車どころか、人も通れない状況となり困っていますとの声があります。そこで下記について伺います。</p> <p>(1) 維持管理は、どこの管轄ですか</p> <p>(2) 今後の整備について</p>	市長
15 徳田 高男 議 員	1. 中学校制服について	<p>近年、夏の暑さが年々厳しさを増しています。そこで、市内中学校における通気性や吸湿性に優れた素材を用いたクール制服（ポロシャツ）の導入ができないか以下見解を伺う。</p> <p>(1) 現在、学校現場ではどのような暑さ対策が行われているのか、取り組み内容</p> <p>(2) クール制服の導入は、生徒の快適性を向上させるだけでなく、エアコンの過度な使用を抑えることによる節電効果も期待できます。市の見解</p>	教育長
	2. 前川農村広場について	<p>前川農村広場の外周フェンスにつきまして、一部が傾いており、外側が崖となっているため、防災の観点からも安全性が懸念される状況となっております。利用者が広場を安心して利用できるよう、フェンスを修繕対応ができないか伺います。</p>	市長
	3. 地域課題	<p>船越小学校前の道路について、大雨が降るたびに冠水被害が発生し、児童の安全な通学が困難になる状況があります。以下について伺います。</p> <p>(1) 令和3年9月定例会において、県道48号線・船越小学校前の冠水対策について、「道路管理者の沖縄県へ改良できないか要請したい」とのご答弁がありました。状況を伺います</p> <p>(2) この冠水は、県道48号線（船越小学校～糸数十字路）の山川道から流れてくる大量の水に加え、道路脇の排水樹に溜まった落ち葉が原因で、適切な排水ができないのではと考えますが見解を伺います</p>	市長
	4. 防災について	<p>(1) 7月30日の津波注意報発表の際、本市の避難指示が遅い時間帯の発令となったとの声があります。このような状況に至った背景について、伺います</p> <p>(2) 昨年4月の津波警報時には、市役所周辺が避難車両で渋滞する課題がありました。対策についてご所見を伺います</p>	市長
16 運天 貴也 議 員	1. つきしろIC周辺地域振興について	<p>会員制の米国系大型スーパー「コストコ沖縄南城倉庫店」が開業し先月24日で1年を迎えました。南城市への来訪者数の推移や生活環境の課題等、マスコミで大きく報じられました。</p>	市長

令和7年9月定例会 一般質問通告書

令和7年9月11日（木）

質問者	発言事項	要 旨	答 弁 者
		<p>開業1年を振り返り市の見解を伺います。</p> <p>(1) 市及び市事業者への経済効果及び影響について</p> <p>(2) 南城産商品取扱い状況</p> <p>(3) 渋滞及び交通量増加対策について</p> <p>(4) IC周辺地域開発の進捗について</p> <p>(準工業用地、準住宅及び二種住宅地域他)</p>	
	<p>2. 教育環境について</p>	<p>知念中学校のプールは、昭和59年に建設され築40年目で老朽化に伴い閉鎖されている。在校生は、昨年度より隣接する知念小学校のプールを活用し水泳の実技授業が行われていますが、現状の課題及び次年度に向けた改善点を伺います。またプールの解体計画も伺います。</p>	<p>教育長</p>
	<p>3. 主権者教育について</p>	<p>平成28年(2016年)11月に、未来を担う中学生が各中学校から議員となり、議会の模擬体験を通じて南城市の将来について夢や希望を提言する機会、南城市民としての自覚を持つ契機、主権者教育をねらいとして南城市中学生議会が開催されて10年の年月が経ちました。来年令和8年は、南城市誕生20周年を迎えます。中学生議会の開催について伺います。</p>	<p>教育長</p>
<p>17 高江洲 順達 議 員</p>	<p>1. 馬天バス停の背後空間の有効利用について</p>	<p>2023年6月定例会で一般質問した馬天バス停の背後空間の有効利用が2年経過しても全く進展がみられません。再度質問します。</p> <p>(1) バス停下屋については2024年6月議会にも進捗を伺ったところ沖縄県バス協会は、維持補修の予算しかなく、新設は厳しいという答弁だった。南部国道事務所への要請はしたのか。その見解を伺う</p> <p>(2) この場所に南城市の行政情報を提供する電光掲示板か、大型画面での動画放映による広告施設の設置を求めたところ、当該箇所はカーブ区間であるため、交通安全確保の観点から、広告施設の設置は適当でないと考えておりますとの回答でありましたがコストコ誕生以降車両の滞留が生じている。南城市を宣伝する絶好の場所になっていると思われませんが、見解を伺う</p> <p>(3) この地は、「交通安全の碑」の移転先として相応しいと思うが見解を伺う。</p> <p>交通事故をなくし、安全・安心で明るく住みよい地域を目指すことを目的に、南城市、与那原町、南風原町の1市2町で構成される与那原地区交通安全協会が執り行われています。空間が狭小であるため参加者に制約があり啓蒙効果がないと思われませんが移転を要望します</p>	<p>市 長</p>

令和7年9月定例会 一般質問通告書

令和7年9月11日（木）

質問者	発言事項	要 旨	答 弁 者
		<p>(4) 議会報告会・意見交換会の中でも身近なところに遊具設置をという市民の意見がありました。この地に遊具設置を実現してほしい。</p> <p>第10回南城市議会報告会・意見交換会より大里に住み始めて思ったことは、お母さんたちが集う場所がない。近くに遊具がある場所がほしい。そこで母親同士の情報交換もできる。子ども達は居場所がない。子ども達が安全で自由に遊べる場所を作ってほしいという意見でした。見解を伺う。</p> <p>(5) 道路管理者である南部国道事務所に、当該場所を歩行者利便増進道路（ほこみち）制度（R2.11.25 施行）の指定に向けて要請してほしい。</p> <p>地域を豊かにする歩行者中心の道路の構築のため、各道路管理者が指定した道路のうち、オープンテラス等の施設を誘導するために指定された特例区域では、道路占用がより柔軟に認められる。上述の(1)～(4)の事業がより早く実現すると思いたすが見解を伺う</p>	
	<p>2. 地域課題について</p>	<p>(1) 馬天小学校区通学路のカラー舗装について</p> <p>新開区、県営団地、県営新開第2団地、津波古区南側地区の浜端から入る津波古地内の児童の通学路の白線が消えかかっている。白線だけではインパクトがなく歩行者の安全は愚か、通学路と認識しないのか車を駐車する方も見受けられる。その対策として通学路のカラー舗装を求める。見解を伺う</p> <p>(2) 新開都市緑地公園は、海岸側に作られていて、防風林のような緑地帯が設けられています。</p> <p>昼夜なく、市民の散歩コースになっています。特に夜は、3基の水銀灯が切れて、暗い。県営団地の水銀灯でカバーしている箇所もあるが新開公園～県営団地までの約100mの区間は、散歩するのが怖いぐらい真っ暗闇です。即、復旧を要すると思うが。見解を伺う</p> <p>(3) 旧バクナー百台入口から大里・西原へ通じる農道（大里境界庫利原農道）は、排水路と農道の両方の役目を兼ねるもので、水兼農道と俗に呼ばれている。農地保全事業の一環として佐敷村時代に初めて取り入れた事業です。津波古泉之後原1526番地付近の水兼農道が「ぬめり」があつて、雨降りそして降った後の1週間ぐらい2輪車、自転車、歩行者が通行できない。「ぬめり」を除去してほしい。見解を伺う</p>	<p>市長</p>

令和7年9月定例会 一般質問通告書

令和7年9月11日（木）

質 問 者	発 言 事 項	要 旨	答 弁 者
18 西銘 幸太 議 員	1. 庁舎内の ハラスメント 防止について	第三者委員会の報告書が提出されましたが、市長以外の前市長、前副市長、前市議、そして現職市議がいるにも調査がされておらず、市役所内のハラスメントを無くすという目的がなされておりましたが、対応状況と今後の対策はどのように考えているのか伺います。	市 長